

・器具の取付には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事に依頼してください。

取扱説明書

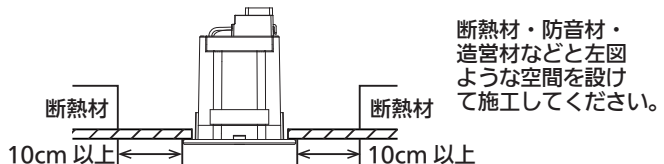
施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

- 本器の分解や改造および修理はしない。
火災や感電の原因となります。
- 必ず適合負荷を最大接続台数以下で使用する。
異常発熱や火災の原因となります。
- 施工は取扱説明書にしたがい確実にこなす。
火災や感電、落下の原因となります。
- 電線は剥き代を守って、確実に差し込む。
火災や感電の原因となります。
- 水平天井埋込専用です。壁取付や天井直付け及び
傾斜天井には取り付けない。
火災や落下の原因となります。
- 屋外、湿気が多い場所、振動のある場所、可燃性のガスが
発生する場所に取り付けない。
火災や感電の原因となります。
- 断熱材（防音材などの断熱効果のあるものを含む）を
かぶせた状態で施工はしない。
火災の原因となります。



断熱材・防音材・
造営材などと左図
のような空間を設け
て施工してください。

仕様

定格電圧	AC100～242V 50/60Hz	適合負荷	当社製デジタル調光LED照明器具（起動方式：DZ）、 当社製アレンジ調色LED照明器具（起動方式：DK）、 NK51012
使用温度範囲	5～35℃（結露なきこと）	最大接続台数	32台×2系統（合計64台）
消費電力	12W以下	適合スイッチ子器	NK51031、NK51032、NK51041、NK51042 （最大4台まで）
適合コントローラ	NQ51101		

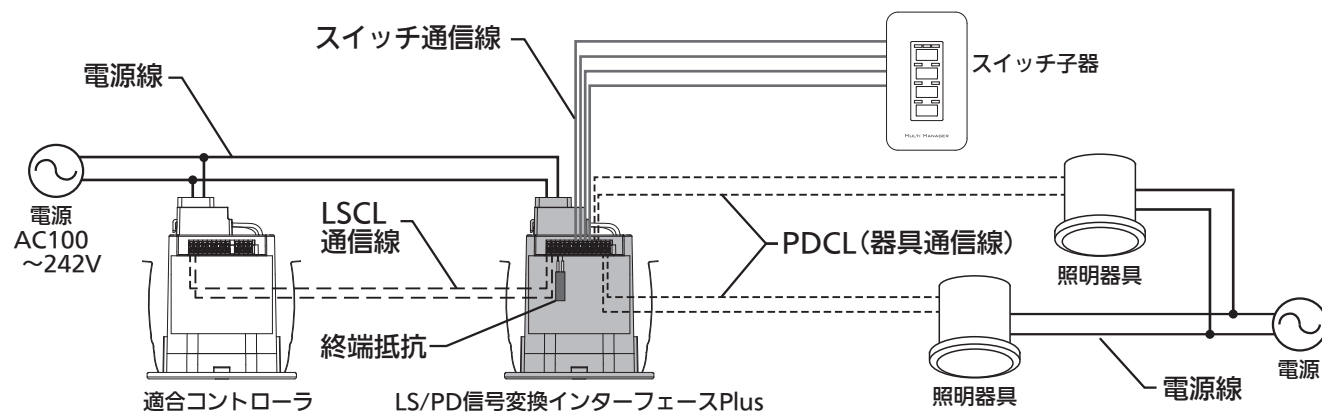
施工上の注意

- 適合外の照明器具とは接続できません。また、適合外とのコントローラとも接続できません。
- 天井材の破損や器具ズレの原因となるので、ロックワールなどの柔らかい天井に取り付けしないでください。

施工前のご確認

- 取付天井の板厚は5～24mmになります。
- 器具質量（約0.4kg）に十分耐えられるよう、取付部の強度を確保してください。

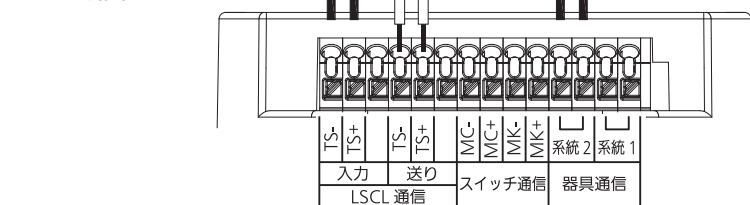
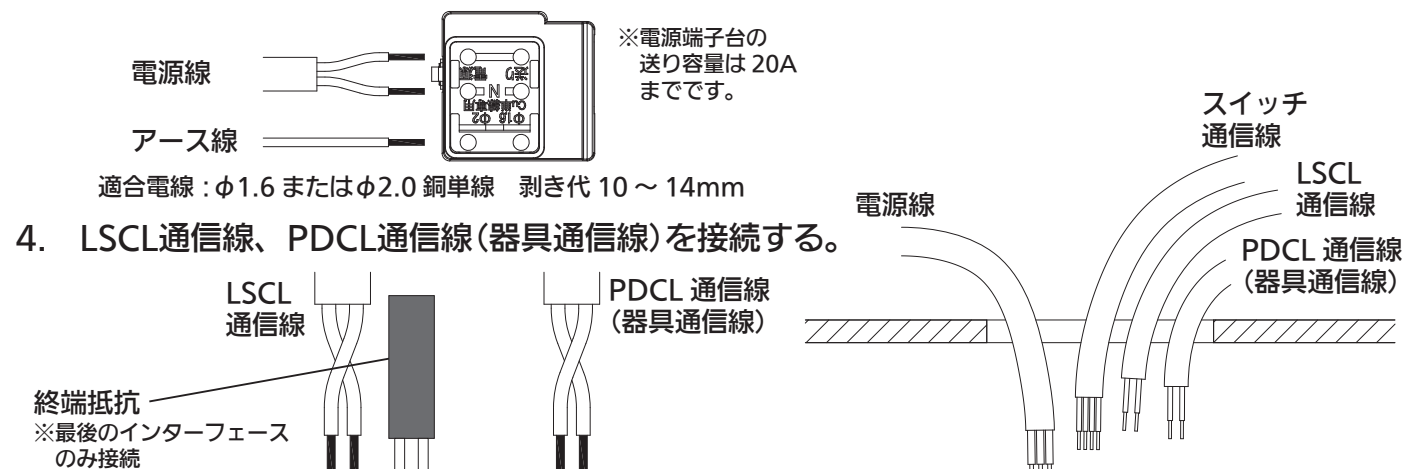
配線方法



- ・電源線、アース線はφ1.6またはφ2.0銅単線をご使用ください。
- ・LSCL通信線、器具通信線にはFCPEV（CPEV相当）φ0.9またはφ1.2×1ペアをご使用ください。
- ・スイッチ通信線にはFCPEV（CPEV相当）φ0.9またはφ1.2×2ペアをご使用ください。
- ・スイッチ通信線は1台ずつ送り配線（一筆書き配線）で接続してください。
（途中で分岐して接続することはできません。）
- ・各通信線の総配線長は下記の通りです。
器具通信線：300m以下、スイッチ通信線：50m以下
- ・インターフェースの最後には必ず適合コントローラ同梱の終端抵抗を接続してください。

施工手順

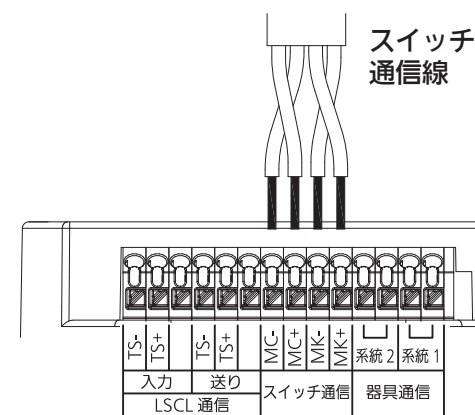
1. 天井にφ100⁺³₀mmの埋込穴をあける。
※精度良く埋込穴をあけるのにダウンライトカッターをおすすめします。
不備がありますと器具落下、天井材との枠の隙間の原因となります。
2. バンドを取りはずす。
取付パネ2本を押さえながら、バンドを外してください。
3. 電源線とアース線を接続する。
電源線を本体の電源端子台に確実に接続してください。



- ・LSCL通信線には極性があります。
極性を間違えないように正しく配線してください。
- ・コントローラに同梱されている終端抵抗を最後に接続される
インターフェースに取り付けてください。

適合電線：FCPEV（CPEV相当）φ0.9またはφ1.2×1ペア
剥き代7～9mm

5. スwitch通信線を接続する。



スイッチ通信線には極性があります。
極性を間違えないように正しく配線してください。

適合電線：FCPEV（CPEV相当）φ0.9またはφ1.2×2ペア 剥き代7～9mm

6. 器具を取り付ける。

取付パネ2本を押さえながら、埋込穴に押し込む。

不備がありますと器具落下の原因となります。

（注）石膏ボードに取り付けた器具を取りはずす場合は天井材の破損の原因になりますので
枠をゆっくり引き下げパネ2本を押し縮めながら取りはずしてください。

取扱説明

お客様へ、この説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
お読みになったあとは、この説明書を大切に保管し、必要なときにお読みください。

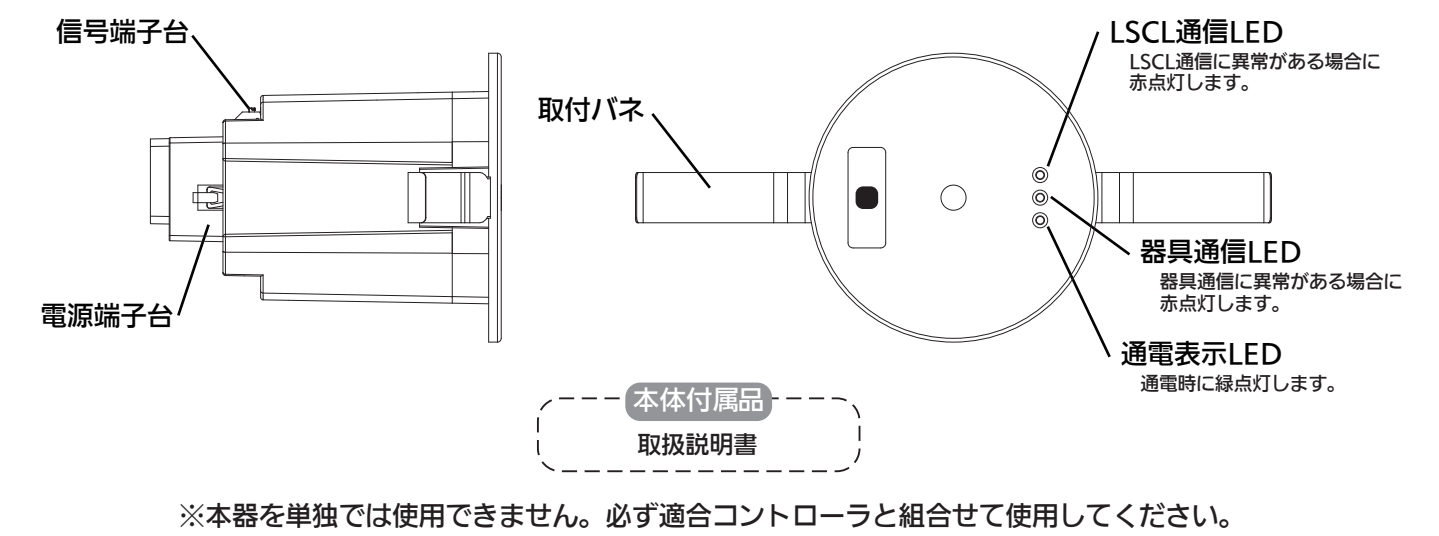
安全上のご注意

必ずお守りください

⚠ 警告	
●本器の分解や改造および修理はしない。 火災や感電の原因となります。	●接続された照明器具を交換する際は必ず本器電源を切ってください。 感電の原因となります。

⚠ 注意	
●本器には寿命があります。設置して 10 年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。 点検・交換してください。 ※使用条件は周囲温度 30℃、1 日 24 時間通電、年間 8760 時間通電です。 ・周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。 ・1 年に 1 回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。 3 年に 1 回は工事店などの専門家による点検をお受けください。 点検せずに長時間続けるとまれに火災・感電などに至る場合があります。	

各部名称とはたらき



保証について

保証期間はお買い上げ（お引き渡し）日より1年間です。
保証書が必要な場合は、当社代理店または当社営業所へお申し出ください。

安全チェックシート

・下欄の各項目について確認し、該当する場合は点検結果に○を記入してください。

安全点検項目		区分	点検結果
使用状況・環境	使用期間は 10 年以上である。	B	
	使用期間は 15 年以上である。	A	
	累積点灯時間は 40,000 時間以上である。	A	
	器具の使用温度が高い（35℃以上）。	B	
	電源電圧が高い。又は低い。（定格の 106%以上、94%以下）	B	
	分岐回路の絶縁抵抗は 0.2MΩ 以下（200V）又は 0.1MΩ 以下（100V）である。	A	
	取付部に常時振動が加わっている。	B	
	使用場所に水気・湿気が多い。	B	
本器	使用場所に腐食性ガス（温泉・塩害を含む）・じんあいが多い。	B	
	本器・パネルなどが手で触れられないくらい熱くなる。（60℃以上）	A	
	本器・パネルなどに変形・ひび割れなどがある。	A	
	塗装・めっき面などにふくれ・剥離などがある。又は錆が出ている。	B	
	焦げ臭いにおいがする。	A	
	電線に著しい変色・ひび割れなどがある。	A	
	電線接続部（端子台など）が接触不良（緩み、抜けなど）を起こしている。	A	

【点検結果の判定】

- ・区分 A の○印が 1 個でもあれば、調査した本器は劣化状態が相当進行し、危険な状態に至っていることがあります。速やかに交換してください。
- ・区分 B の○印が 1 個でもあれば、調査した本器は劣化状態が進行していることがあります。交換又は継続的に点検してください。

上記項目以外でも不具合があれば、工事店などの専門家にご相談ください。